

ナス(ナス科)



ナスは作りがいのある野菜よ。
大きく成長して実をたくさんつけるのでプランターには、2
株くらいを植えて、のびのび育てるといいわ。
種まきを遅くして、秋まで収穫することもできるわよ。
いろんな料理に使えるので、料理をするのも楽しいわね。



▼栽培手順



1

種まき用の小さな発芽ポットと専用の土を用意します。
ポットに土を入れて、しめさせます。

2

中央に1cmくらいの小さな穴をあけ、1つのポットに1粒ずつ種を入れて、軽く土をかぶ
せます。
きりふきを使って、やさしく水をかけます。



3

全体を新聞紙でおおい、上からきりふきで水をかけて、新聞紙をしめらせておきます。

4

芽がでるまで毎日、きりふきで、土と新聞紙をしめさせます。



5

芽が出てきたら、新聞紙をとって、太陽にたっぷりあてます。
まだ小さいので、水やりはきりふきのままです。



6

双葉になりました。
だいぶしっかりしてきたら、少し大きめの苗ポットに植えかえます。

7

植えかえるポットには、野菜栽培用の土を入れてしめさせます。
中央にくぼみを作り、最初の小さなポットから、土ごと取り出した双葉を、植えます。
葉にかからないように、やさしく水をやっておきます。





8

だいぶ成長してきました。
本葉が 4～6 枚くらい出てきたら、プランターに植えかえます。



9

プランターに元肥と土を入れて、しっかりしめさせます。
苗ポットと同じ大きさの穴をあけておきます。



10

苗ポットからやさしく苗を取り出し、植えつけます。
たっぷり水をやります。



11

朝と夕方に水やりをして育てます。
乾燥して、苗がしんなりするようなら、わらをしいたり、水差しをつけて乾燥を防ぎましょう。



12

ひと月で、このくらいまで成長します。

13

背が伸びてきたら、支柱を立てて支えましょう。



14

まだ小さいうちから、一番初めのつぼみがつきはじめます。
最初は白っぽい花が咲きます。



15

花が咲きだしたら、実の方にたくさんの栄養がいくように、わき芽をとります。
つけ根を持って、下に曲げるようにすると、きれいに取れます。
このころから肥料と水やりを十分にします。
液肥を与えるときは、1週間おきに水やりの代わりに与えます。
固形の肥料にするときは、1カ月に1、2回ばらまき、上の土を軽く混ぜます。





16

花が終わり、中心がふくらんで実になってきました。
1 番、2 番にできた実は、小さいうちに摘み取ります。
栄養を他にまわし、もう少しナスの株を成長させるためです。



17

花の色が濃くなり、たくさん咲きだします。
よく見ると、めしべに比べおしべが短いものがあります。
このような花は、受粉が十分にできずに、実にならないことがあります。



実がなる花と、ならなずに空どうになった花です。





18

花が落ち、実になる部分が少しずつふくらってきます。



19

実が 10cm くらいになったら収穫します。
つけ根をはさみで切り取りましょう。
ナスのへたの部分にはトゲがあるので、刺さらないように気をつけて持ちましょう。



20

成長するにしたがって、枝が広がっていきます。
広がりすぎたよぶんな枝を切って、肥料をちゃんとあたえると、長く収穫することができます。
秋に収穫するナスは、寒さに負けないように、つやが減って、皮がかたくなってきますが、
実に栄養をたくわえようとするので、うまみや甘さがでてきます。

